



時計台の鐘

第 74 号

特定非営利活動法人

さっぽろ時計台の会

会長 木原直彦

札幌市中央区北1条西2丁目

重要文化財・時計台内

TEL 011-251-5944

”先達の足跡に思いを馳せ”

副会長 谷 征輝

一九七五年、北海道史研究の泰斗、高倉新一郎先生が初代会長に就任、会員二百十九名で「時計台を守る市民の会」が発足、爾来三十五年。時移り、二〇〇四年「さっぽろ時計台の会」と改称、翌年の記念すべき設立三十周年に特定非営利法人活動の認可が下りて、五年の節目を迎える。折りよく、昨年八月、池田理事より「反省とチャレンジ」の心をもって、会員増強の取組みに関する密度濃い提案がなされ、前回の理事会に於いて担当理事の選任、承認の運びとなった。今後具体的に、積極的に取り組んで行く事であろう。大きく期待をする所である。

だが会長より私が座長に指名され考えるに、課題も有り、提案が七項目、細目二十五と多岐に渡る為、多岐亡羊とならぬ配慮が必要と思われる。次に費用の捻出である。本会が販売事業の収益に大きく依存している現状で、ここに来て順調に推移していた売店経営が不況の荒波をまともに受け、更に新型インフルエンザ流行の追い討ちで、売上高減少、収益の悪化である。栄枯盛衰の常、継続可能な最小限の費用はもとより、費用対効果を十二分に考慮しなければならぬであろう。継続は力なりである。

過去の設立時を振り返れば、春の外回りの清掃に始まり、足場を設置しての大規模な全館清掃、時計台のPRチラシ作成、更に時計台保守協力等の時計台愛護活動を行っていたと聞く。私は改めて、先達の崇高な精神のもと、会の歴史に残るその足跡に思いを馳せ、只管に愛護活動の積み重ねに精進していかねばと強く思うところである。時計台は今林立するビルの谷間で首をすくめているが、札幌のシンボルとして永年にわたり愛され、心よりどこと親しまれて来た。いつまでも、いつまでも鐘の音を絶やすことなく響かせていてほしい。



key S.

カット絵は、関堂圭子さんの四季の時計台絵ハガキから

第28回 時計台まつり記念行事

◆創建記念式典・各種表彰式

残念ながら今年度は出席予定でした上田札幌市長が公用のために欠席となりましたが、北原札幌市教育委員会教育長を始め多くの方々のご参列をいただき盛大に開催することができました。

10月19日 道新夕刊の記事より抜粋

時計台 市民と歩み131年

札幌市のシンボル、時計台（中央区北1西2）が16日、131回目の創建記念日を迎え、記念式典と恒例となった児童絵画展などの表彰式が時計台2階ホールで開かれた。

式典では参列者を前に時計台まつり実行委員会の木原直彦会長が「文化的な行事が行われ、鐘を響かせ続ける時計台を、今後とも守っていききたい」とあいさつした。同ホールでは10日から第28回時計台まつり

◆演奏会等

公募に応じた18の団体から選ばれた左記の7団体の出演による5回の演奏会等が行われた。鑑賞希望者数が定員の4倍になるほどの大好評の演奏会もあり、いずれも満員となる盛況でありました。出演応募数も鑑賞希望者数も年ごとに増加しており、札幌市民の方々に時計台をより身近に親しみ、愛護する心をもっていただくという本行事の目的は十分に達成できました。



津軽三味線演奏

① 演奏会

6月26日(金)
オーボエを中心とした弦楽器とピアノ演奏
高島拓哉アンサンブル(PMF所属)

② 演奏会

7月26日(日)
津軽三味線、佐藤俊彦と夢絃コンサート
津軽三味線佐藤流

③ 演奏会 8月26日(水)

歌になった絵本
田中則子と小さな音楽の集い
マンドリンとギターの競演
レッドアンドブラック

④ 古典の夕べ 9月26日(土)

琵琶、篠笛演奏、源氏物語の朗読
古典を楽しむ会

⑤ 合唱の夕べ 10月16日(金)

女声&混声合唱 市民合唱団 コールしらかば

北の心を歌う音楽の夕べ

主催 さっぽろ時計台の会
後援 札幌市 北海道新聞社
出演 いろいろこの会
アイヌリムセ保存会
札幌民謡連盟
日時 平成21年8月5日(水)
場所 札幌時計台 2階ホール



挨拶する木原会長

本会は平成21年度で創立34年を迎えました。昭和50年に発足以来数々の時計台愛護活動を展開してまいりましたが、本会が単独で主催するコンサートは初めてであります。それぞれの分野でご活躍されております。団体のご出演をいただき、超満員の観衆の参加をえて、盛大に開催されました。



アイヌの歌と踊りアイヌリムセ保存会



北海道おなじみの民謡札幌民謡連盟



当地ゆかりの曲演奏いろいろこの会

札幌農学校演武場跡碑

ようやく安住の地へ 本会も移転計画に協力

札幌のシンボル、札幌時計台。札幌農学校演武場として1878年(明治11年)に創建されましたが、1906年(明治39年)に一丁程南西の現在地に移設されたことはご存知の方が多かろうと思えます。1962年(昭和37年)市民有志の方々が、発祥の地を忘れまいとの善意から「札幌農学校演武場跡」碑を建立しました。碑銘を刻んだのは、農学校第19期生の星野勇三北大名誉教授でした。

建立から10年後、道路区画整理や土地を売られる等の事情から碑の置く場所がなくなりました。当時の新聞記事に「さまよう、札幌の心」と紹介されております。

その後、転々とさまよう文字通りの流転の旅を続け、現在は、S TV北2条ビル1階のバー「バルコ」の店内に置かれています。

せっかく作られた跡碑を何とか元あった地にといい願いは多くの市民の方が持っております。

昨年秋に跡碑の移転話が持ち上がり、札幌市文化財課、札幌市時計台と本会の三者で移転・建設費用を分担し、当初の位置に近い北2条西2丁目すみれホテル前の歩道脇

に移転されることが決定しました。除雪等の関係から、今春雪解けを待って跡碑の移転・建設がなされます。

幾多の変遷を経て、流転の旅も終り、「札幌の心」もようやく安住の地を見つけられそうです。

新理事の就任挨拶

平成21年度は役員改選の期でした。年初の理事会において役員改選が行われ、北海道新聞社出版局勤務の前川公美夫氏と札幌市青少年女性活動協会市民活動サポートセンター勤務の大築覚氏が新理事として選出されました。

前川 公美夫

夜の時計台はいつもにぎわっている。以前は歴史の展示が行われていた2階ホールでさまざまな行事が行われている今は、そのころに増して市民に親しまれていると感じられる。明治44年の北海道タイムス(現在の北海道新聞)を見ていたら、「時計台を活動写真常設館とすることが決まった」

とあった。実際どうだったのかはともかく、こんな話が起ったのは、当時から市民に親しい館であったということだろう。会の活動を通して、さらに親近感を持たれるためのお役に立てればと願っている。

大築 覚

2010年が始まり、昨年の日本社会の一大話題は、何と言っても、「政権交代」でしょう。課題は山積み、あの「事業仕分け」が影響で社会の課題を身近にし、「NPO法人さっぽろ時計台の会」も、「仕分け作業」が求められる年でもあるようです。

札幌のシンボル、時計台。札幌農学校の演武場として創建された国の重要文化財。そんな札幌のシンボルである時計台を、市民の手で末永く保存し、市民憲章の前文にある「わたしたちは、時計台の鐘がなる札幌の市民です」といえる誇りを持つ多くの市民を募り、身近な市民活動として行くことが会の進む道かと思えます。私も微力ながら、会員の皆様と一緒に活動して行きたいと思っておりますので、どうぞよろしく願います。

平成21年度 役員名簿

会長	木坂	直彦	彦美
副会長	坂谷	本千代	代美
同 事	池田	征健	輝次
同 理	谷太	田忠	而
		(事務局長)	
同 同	大川	築剛	覚剛
同 同	小島	博重	重彦
同 同	小川	克英	彦子
同 同	笹木	修一	響子
同 同	佐島	無千	鶴子
同 同	高前	良公	美夫
同 同	松源	耕鬼	一彦
同 同	吉田	(顧問)	安
同 同	斎谷	澤小	紀子
同 同		口博	
監 事			
同			

平成21年度 会の主な活動

- 3月21日 総会・理事会会議室使用申込み (市民ホール)
- 4月14日 時計台まつり実行委員の委嘱依頼
- 19日 会計監査
- 21日 「広報さっぽろ」6月号原稿依頼
- 28日 時計台まつり実行委員会
- 5月1日 総会・理事会開催案内
- 12日 北の心を歌う音楽の夕べ出演団体との打ち合わせ
- 13日 第1回理事会 (総会議案審議)
- 23日 通常総会 (活動・決算報告、活動計画・予算審議)
- 26日 札幌市へ記念行事負担金交付申請道新、梅津奨学院、北電へ、その後順次申請札幌市、NHK等へ名義後援、協賛、特別賞出賞の依頼小学校長会等関係各所へ後援申請
- 27日 北海道新聞社へ時計台まつり記念演奏会の広報依頼
- 6月1日 児童絵画展、文芸作品コンクールの審査委員委嘱依頼 道新社告に記念行事年間計画掲載
- 9日 消防署へ催物開催届提出
- 26日 第1回時計台まつり記念演奏会 オーボエとピアノ演奏
- 7月1日 児童絵画作品募集案内依頼
- 8日 区役所、区民センター他へ文芸作品募集のチラシ配布
- 23日 道新社告 児童絵画、文芸作品募集記事掲載
- 26日 第2回時計台まつり記念 津軽三味線とラテン音楽の夕べ
- 8月1日 市民文芸作品コンクール作品受付開始
- 5日 北の心を歌う音楽の夕べ
- 8日 第2回理事会 広報活動の促進策検討
- 26日 第3回時計台まつり記念 歌になった絵本 マンドリンとギターの夕べ
- 27日 文芸作品審査依頼
- 9月1日 児童絵画展作品受付開始
- 15日 児童絵画作品審査会
- 24日 道新に市民文芸作品コンクール入賞者発表
- 26日 第4回時計台まつり記念古典の夕べ
- 10月9日 道新に児童絵画展入賞者発表
- 10~16日 児童絵画・市民文芸優秀作品展
- 16日 時計台創建131周年記念式典・優秀者表彰式記念コンサート合唱の夕べ
- 27日 後援・協賛事業終了報告とお礼
- 11月6日 時計台まつり記念行事会計監査
- 12月11日 第2回時計台まつり実行委員会 第3回理事会 広報活動の促進策検討
- 1月4日 時計台まつり記念行事出演者の公募「広報さっぽろ」に掲載
- 9日 同「道新」に掲載
- 2月1日 会報74号発行予定

岩野泡鳴―時計台寸描③

木原直彦

札幌が近代都市の形態を整えたのは、明治末期ごろと言っている。当時の市域にあたる都心部の人口は十万人ほどになっていたが、明治四十年(一九〇七)の春、野口雨情が北鳴新報社の人となった。時計台の東隣(経済センターあたり)である。秋には石川啄木が北門新報社(札幌駅前)の東急デパートあたり)に勤めるようになり、「好い！何時までも住んでいたい」(小説「札幌」と述懐する。その二年後の明治四十二年、自然主義文学の中でも特異な岩野泡鳴が樺太のカニ岳誌事に失敗して流れ着いた。ジャーナリストと深く交わったのだが、新聞や雑誌など札幌の言論機関が花開いた季節であった。

泡鳴の代表作「放浪」はこの折の自画像であり、そこに札幌の描写が克明なのだ。明治

末期を知る教材としても推奨したい。その一節――

フト札幌の市街を歩いてみたい気を起した主人公は「道庁の構内をたつた五六本の白楊樹の高い影であるかの様な気持ちで通り抜け、郵便局の前に出て、豊平館(現市民ホール)の横を通過して、水道(創成川)にかかった小橋(創成橋)を渡り、東部の町々をめぐる、それからまた西部を見た」

そして停車場(札幌駅)通りを中心にした西部の方が賑やかだ、というわけだが、ここに出てくる「郵便局」は、札幌郵便局が焼失したため今の時計台である演武場を仮庁舎としていたときにあたる。ちなみに、北海道教育会が時計台に附属図書館を開設したのはその二年後の明治四十四年であった。

事務局だより

一昨年秋のリーマンショック以来の世界的な経済不況の波は我が国にも例外なく押し寄せ、未曾有の厳しい経済状況となっていることは、今更述べるまでもありません。時計台の売店経営もその流れに抗しきれず、昨年3月末の決算においては大幅な減収・減益を余儀なくされましたことは既にご報告した通りです。平成二一年度も前年度なみの厳しい状況が続くであろうと予想しておりましたが、経済の回復は予想以上に思わしくなく、更には追い打ちをかけるような春以降の新型インフルエンザの大流行は景気の冷え込みに拍車をかけ、また、ゴールデンウィークから夏休みまでの端境期6~7月ごろに期待していた本州の修学旅行生の来館も極端に減少しました。その為、売店の売上も昨年度を更に大幅に下回る減収・減益となっております。その後一向に回復の兆しが見えず、3月末の決算では大幅な減収・減益となった昨年度をさらに下回る結果になることは確定的であります。

大変さびしい報告で恐縮ですが、じっと我慢の年に次年度もなりそうです。